

浜松市市民協働を進めるための基本指針

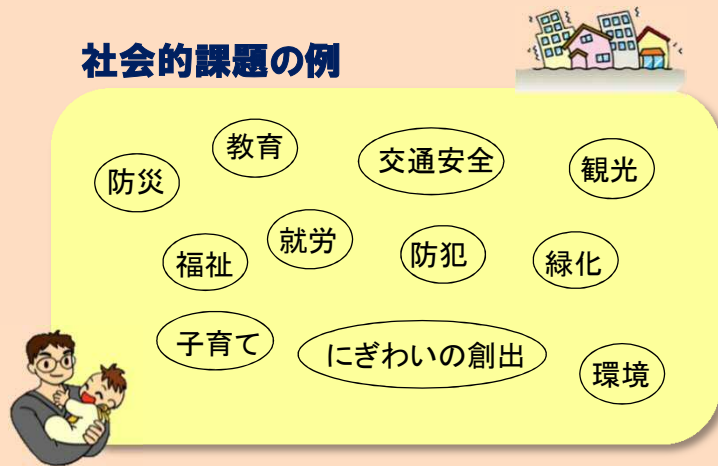
— 多様な主体によるまちづくりを実現するために —
～市民の皆様へ～

「市民協働によるまちづくり」とは？

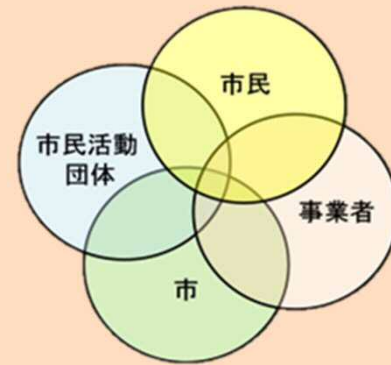
少子高齢社会に突入した日本では人口減少が進み、一方で個人の価値観等が多様化していることから、社会的課題が複雑化しています。その課題を解決するために、市民、NPOや自治会をはじめとした市民活動団体、事業者、市など、さまざまな人や団体が

取り組んでいます。このような多様な主体（私たち）が、お互いを理解し、信頼し、想いを共有し、対等な立場で手を取り合いながら、市民一人ひとりが幸せに暮らせる地域にするために主体的に取り組むことが「市民協働によるまちづくり」です。

社会的課題の例



「私たち」とは



「市民協働」によるまちづくりはなぜ必要？

高齢化

●社会的課題の種類・量の増加

人口減少

●市民活動の担い手の減少

NPO法人数の増加

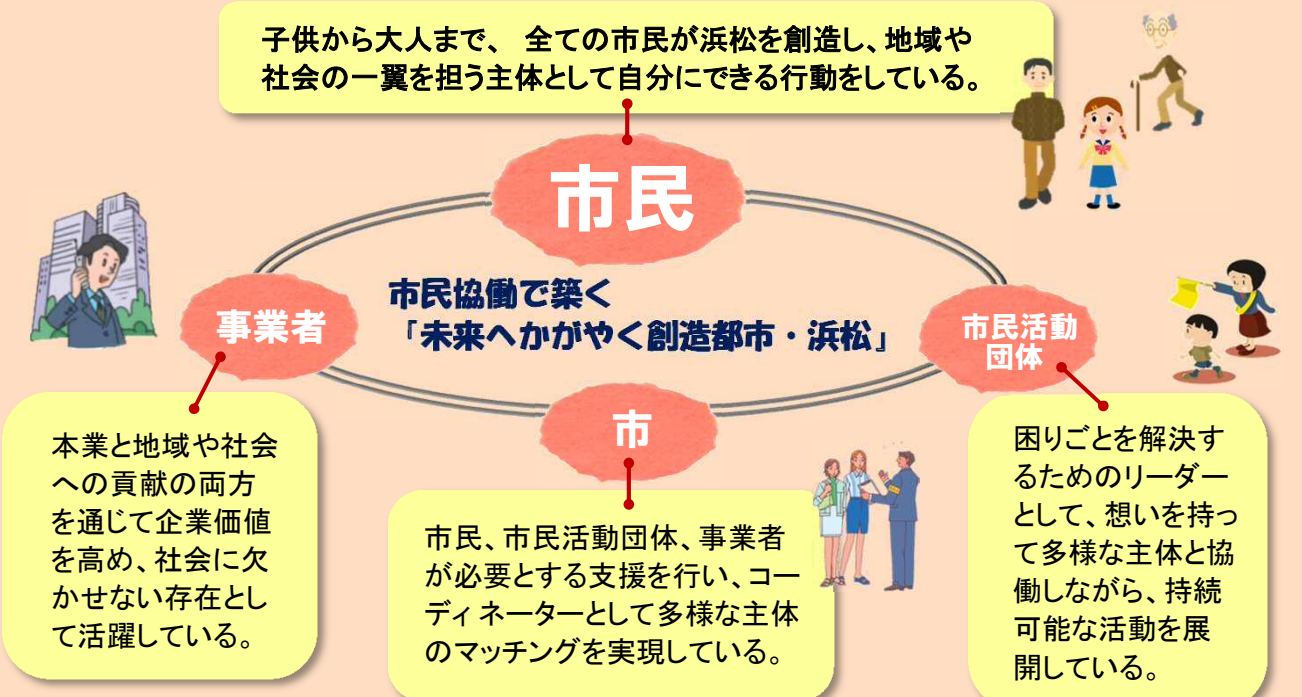
●市民の興味・関心の高まり

事業者による社会貢献活動

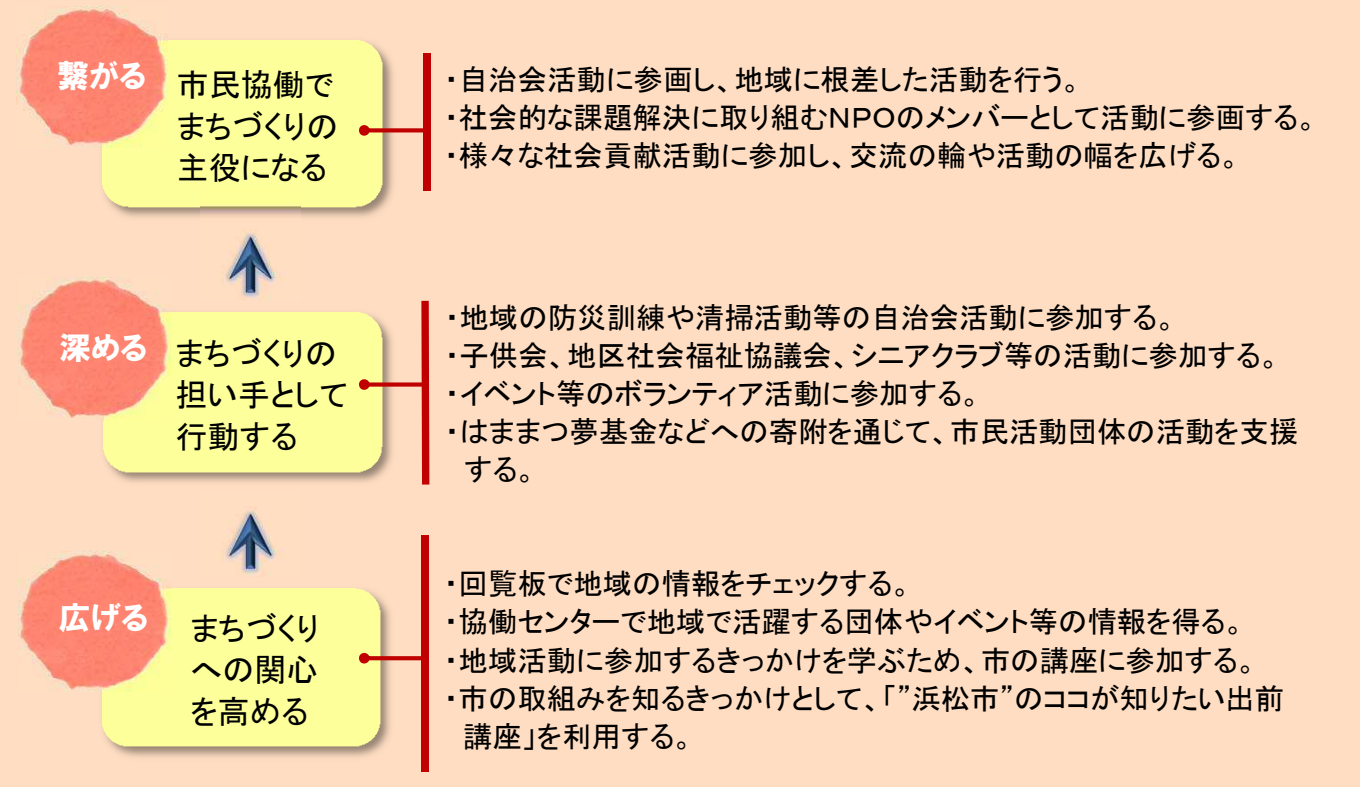
●民間事業者による公共サービスの提供

それぞれの力だけでは課題解決は困難です。そこで、新たな担い手の発見や、現在の担い手の規模を拡大し、私たちが連携して取り組む必要があります。

多様な主体(私たち)の将来の姿と基本的な考え方



市民として出来ることは？



「浜松市は私たちがつくる」という想いを持って、共に取り組みましょう!